

## 地域密着型特別養護老人ホーム

## 愛護苑

広報

・第14号・

2018.03.31

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢区羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197(51)6835 ●FAX 0197(51)6836
- E-mail aigoen@aigokai.jp ●URL http://aigokai.jp/
- 責任者 千葉信男 ●編集 福士翼・千葉加奈子・川村幸子・伊藤光春・小澤泰子・阿部美由紀・小田島千春

## 2月11日「黒田助獅子舞、伝統の門付け」



しーで護苑いきたいと考えます。上層参りたいと考えます。頂は築で、上層参りたいと考えます。高齢者や障がい者、大変な状況に陥ると推測されますが、社会環境理解してしましても、利用者さんの為に愛護苑いきたいと考えます。千葉信男

頂は築で、自分らしい生活を進めることとしておりまます。高齢者となる年は、本当に高齢化率は三十%を超える、全国的にも高齢者が顕著に進んでいます。奥州市の高齢化率は三十%を超える状況下にあることをもつと理解して

施設長 干葉信男

り心より感謝申し上げます。これも偏に皆様方のご理解ご協力の賜物と感謝申し上げます。

平成三十年の新たな年を迎えたのがついこの間であったように記憶しておりますが、もう既に三月に入り、もう少しで桜の開花を告げる便りが届き始めました。愛護苑をご利用頂いている利用者さんは、長寿で健やかな生活を送って頂くことが願いであります。「愛護苑を利用して良いと思つて頂けるような福祉サービス提供をすることだと考えております。要望に応えきれない部分もあるとは思つかった」と思つて頂けるようになります。が、願いであり、「愛護苑を利用した感想申しあげます。」と思つて頂けるようになります。現状にプラスαの「高齢者を担う人材」を確保しないことには、「利用者さんにとつての可をしらわす」誠心誠意支援をさせて頂いております。但し、「高齢者世帯は年々増加している状況にあり、いゆ確保欠だ」と考えております。現状にプラスαの「高齢者を担う人材」を確保しないことには、「利用者さんにとつての可をしらわす」誠心誠意支援をさせて頂いております。但し、「高齢者世帯は年々増加している状況にあります。全国的にも高齢化が顕著に進んでいます。奥州市の高齢化率は三十%を超える、全国的にも高齢者が顕著に進んでいます。奥州市の高齢化率は三十%を超える状況下にあることをもつと理解して

## 高齢者福祉の実状について



あざみユニットでは、日々の穏やかな時間の中で、演歌を流してみたり、職員のお手伝いをして頂いたり、紙芝居の読み聞かせを行つたりするなど、多彩な活動をしています。もちろん、無理せず利用者さんには自由に動いてもらっています。演歌は、都はるみや福田こうへいなどの曲を流し、時間の許す限り聞いてもらっています。居室にも聴こえるので、「声っこいい人いるんだな」と、感想を言われたりします。

またまに、職員も歌を歌い、利用者さんと賑やかに過ごすこともあります。職員のお手伝いは、出来る方とそうでない方がいらっしゃるので、無理せずに過ごしていただけます。

この穏やかな時間をかけがえの無いものとして、これからも職員一同、利用者さんの笑顔を増やせるように日々頑張っていきます。利用者さんは、これからも健やかに過ごされますよう願っております。

## あざみユニット



いちょうユニットでは、皆さん仲が良く、食事後はテレビを観られながら談笑をされ楽しまれています。余暇活動ではテーブルを囲んで、ボール転がしをされたりして交流を図っています。

「それ」と掛け声をしながら、勢いよくボールを転がされる方もいらっしゃり、ちょっととした気分転換にもなっているようです。利用者さんが、よりやすらぎを感じて頂けるよう、優しく丁寧に確実に支援を行つていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。



## いちょうユニット





## こすもすユニット



こすもすユニットは、日中は居室で過ごされる方やリビングでテレビを観て過ごされる方、細かい作業が得意な方は新聞たたみや洗濯物を干して下さったり畳んで下さり過ごされています。裁縫が得意な方は刺繡をされています。塗り絵が好きな方もいて塗り絵をして過ごされます。こすもすユニットの行事としては、誕生日の方にお誕生日カードを渡しております。

これからも利用者さんが安心して日々過ごされますよう、ユニット職員一同努力していきたいと思っております。



## さくらユニット



さくらユニットでの利用者さんは主に、リビングでお話をしたりテレビを観て過ごされています。食前に口腔体操や軽体操をしたり、日中には、輪投げや風船を使ったパレーなどの簡単にできるスポーツやゲーム感覚で行う指の運動などをして過ごされています。

あまり体を動かすのが好きではない方は、「テレビ観賞をされたりお昼寝をして、穏やかな時間を過ごされています。

季節によっては、天気のいい日に職員と外へ出かけることもあります。利用者さんと職員、利用者さん同士のコミュニケーションが少しでも多くなるよう、紙芝居やパズルなどを用意しております。

これからも皆様が安心して快適に過ごせるよう職員一同努力してまいります。



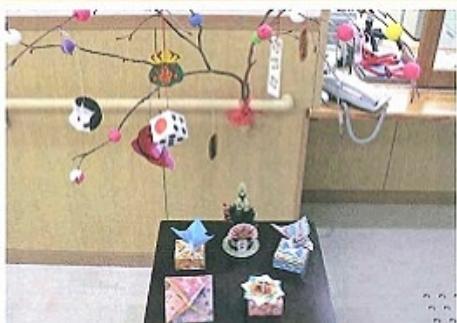
## クリスマス会



十二月十九日、クリスマス会を開催しました。東水沢保育園の園児の皆様が来苑して下さり、一階のユニットと二階のユニットそれぞれにおいて演舞をご披露して下さいました。歌や踊り等、色々ご披露して頂き、利用者の中には嬉し涙を流されながら観ている方もいらっしゃいました。また歌を歌いながら利用者さんと一緒に手遊びをしたり、肩たたきをして下さり、皆様とても喜んでおられました。各ユニットでは、職員が利用者さん一人一人に合ったプレゼントを考えクリスマスプレゼントを渡しました。皆様とても喜んで下さり楽しいクリスマス会を過ごすことが出来ました。



## 小正月



一月十一日、第二東水沢保育園の小正月行事に五名の利用者さんと職員三名で参加してきました。地域の方々・保護者の皆さんと一緒にお餅つきをされていました。私たちの姿を見ると園児の皆さんが寄つてこられ代わる代わる握手をされたり、話しかけてこられました。最後に、地域の方の獅子舞を見て帰ってきました。  
一月十五日には、三ズキ団子の飾りを利用者さんと共に作成し、各ユニットや玄関に飾りました。お昼には、皆様の一年の健康を願い小豆粥を召し上がり、季節を感じて頂きました。



## 節 分



一月一日、節分行事を行いました。鬼に扮した職員が、各ユニットを回りました。利用者さんは真剣な顔、あるいは笑顔で、「鬼は外、福はうち」と声をかけながら、豆をまき、邪気を払いました。そして最後は、鬼と仲良く記念撮影をされていました。

今年一年健康で、そして幸せでありますように。  
鬼さんもお疲れ様でした。

## ひなまつり



三月三日、ひなまつり会が開かれました。各ユニットのプランナーが、女性利用者さんに化粧をし、こすもすユニット職員手作りの羽織を着せて、写真をパチリ。女性利用者さんは、皆様笑顔があふれています。気に入つてもらえたでしょうか。とても華やかになりました。扇子を持って飾りを付けて、カメラの前でポーズ。今年のひなまつりの撮影用セットに力が入っています。いかがですか。

ひなまつりは、女の子が健やかに成長して欲しいと、願いを込める行事です。愛護苑では、このような行事を大切にしています。

利用者さんに、これからも、健やかに過ごしていただけるよう、心よりお祈り申し上げます。

## ご高齢者の方々が 食べやすい給食作り

今回は調理員から、ご高齢者の方の食事を作るに当たりどのように工夫をしているのかをお伝えしたいと思います。

まずは始めて、野菜についてです。やしめじなどの長時間煮ても形が変わらないものは切り方にも気を付けています。また、ごぼうやゼンマイなどの繊維が多いものは若者でもかみ切れないこともあるで、調理する前に長時間の下茹でを行い、ご高齢者の方でも噛み切れるくらいの柔らかさにしています。大根や人参は、長時間煮ていると軟らかくなりすぎて形が崩れ、見栄えが悪くなってしまうので、煮物に使う場合は味付けまで火を通してのを見越して火の入れ具合の調節をしています。

次に肉や魚についてです。肉はもも肉やロース肉、ひき肉を主に使用しています。長期入所の方には食べやすく、歯ぐきでもつぶせるくらいに加工された肉を調理して提供しています。魚は、サツラやサバなどを主に使用しており、あらかじめ骨を取つてある魚を使っているので安心して食べること

## 感染症について

感染症は、とても身近に存在します。風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなどが有名です。何らかの細菌やウイルスが体に侵入した状態を「感染」と言い、その結果、咳やくしゃみ、下痢や嘔吐などの症状を引き起こすことを「感染症」と言います。感染症は体内に侵入したウイルスが人の持つ抵抗力よりも強くなつた時に発症します。

感染を防ぐためには病原体の侵入を防ぐことが重要です。

いつまでもお元気で長生きしていくためにも、これからも向上心を忘れずに精進していきたいと思います。

このように調理された食事は毎食、事務室や現場で働く介護職員が検食をしており、味付け、見た目の色合いや形、量が多いか少ないかを評価しています。そして、その評価をもとに今後に役立て、より良い給食作りを目指しております。

常生活では他者による病原菌の持ち込みや、不適切な環境によつて感染が広がります。一人一人が感染者や媒介者にならないことが重要になります。

身近な予防では、手洗い・うがい・マスクの着用が感染予防、また自身の健康管理にも繋がります。最近では、建物の玄関内にアルコールの消毒スプレーを設置している所も多くなっています。それらをこまめに活用するのも感染予防へとつながります。

約三十秒間の手洗いで細菌は約八十六%～九十五%無くなると言われています。もちろん、水で流すだけの手洗いよりもハンドソープなどの石鹼を使用するとより効果的に細菌を洗い流すことができます。手洗い後、アルコールで消毒をすると、より菌を消滅させることができます。

手洗いはとても重要です。手のしわの部分・指の間・爪と皮膚の間は細菌が残りやすく、また、洗い残しの多い箇所とされています。これらの箇所は特に念入りに洗うことをお勧めします。手首まで洗うことができます。

常生活では他者による病原菌の持ち込みや、不適切な環境によつて感染が広がります。一人一人が感染者や媒介者にならないことが重要になります。

## 新職員紹介

パート介護職員  
小関ひとみ



三月に入職しました。今日は浅いですが、以前も介護の仕事をしていたのでその時の経験を活かしたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

編集後記

今年の冬は寒波が厳しく、インフルエンザなど体調を崩しやすい年になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今号は二十九年度最後の広報紙となりました。今年度最終号ということで愛護苑各ユニットの様子を少しでも皆様にご覧いただきたく、ほんの一部ではありますが、入居者様の日々の様子を掲載させていただきました。今後も、日々の生活をはじめ、季節ごとのイベント、その他の行事でも入居者様に少しでも楽しんでいただけます。ごとに少しだけ楽しんでいただけます。お忙しい中、貴重なお時間を使い愛護苑広報紙に目を通してください誠にありがとうございました。